令和2年度 第3回真庭市総合計画審議会 議事概要

日時：令和2年9月24日（木）
18時30分～20時30分
場所：勝山文化センターコミュニティルーム
参加者：別紙のとおり

1 開 会

2 議題

（総合戦略について）

- ・ 第二期の総合戦略は非常によくできていると思う。住んでよしという地域づくりが現れている。ここに出ている施策の着実な実施が域内の経済循環につながり、消費も増えてくると思う。人口減少対策にもつながっていくのではないかな。
- ・ PDCA を回す体制をどうつっていかのか。総合計画が作られたときに5年間、本会議が開催されてこなかった。
→ 今後は、本会議を年に一回二回は開催したい。その場では、できなかったことを提示して、改善するための相談をしたいと思っている。
- ・ 若年女性人口と出生数の増加を最重点目標と位置づけるというのは非常に気に入った。このまちでどれだけ子どもが生まれるかが勝負だと考えている。これを最重点課題にしてじゃあどう実施していくのか。次の具体策がないと子どもは増えない。出産適齢期の未婚の女性1000人いるとのこと。1000人結婚すれば次の年には1000人子どもが生まれる。福祉分野では社会福祉協議会など相談する場所があるが結婚についての相談場所がない。常設の組織が必要なのではないかな。
→ 具体的事業については、現在、検討中で次の会議で提示したい。
- ・ 全国ニュースで、結婚すると60万支援するという施策が紹介されており、岡山県では真庭市を含めて3つの市町村しか対象となっていなかった。対象となるには市町村のやる気が必要で国と契約していかなければならないとのこと。真庭市がこのような制度を対象となっているということはイメージアップにつながるのではないかな。
→ 本制度を含めて様々な支援制度のPRをしていきたい。
- ・ 関係人口の創出は、一番大切なことだと思う。関係人口を増やすことはそれぞれの組織の中で様々なアプローチがある。その可能性を追求していけるといい。
- ・ 真庭市の最上位の計画は総合計画であり、総合戦略は国や県から財政支援を得るための事業を挙げるものと理解しているが、その位置づけであっているか。
→ 戦略は、人口減少・東京一極集中という国の位置づけを踏まえ、総合計画の実施計画という位置づけで作成している。実際には国の財政支援である地方創生推進交付金を活用するためには、本戦略が必要なのは事実
- ・ 農業の関係の話で、市民のワークショップの結果にもあるように、市内外の多くの若者が農業に興味を持っているが、とっかかりがない、ハードルが高いといったものが課題である。市外からの新規就農者の呼び込みもよいが、就農しやすい環境・地元農家の後継者の就農もサポートいただくと助かる。
→ 高収益をあげる農業も大切であるが、家族労働として大切な産業であると認識している。本戦略では収益を上げる色が強くなっているものの、総合計画の中では社会的な意義を位置づけていきたい。

(総合計画について)

- ・ 真庭市では森林が80%となっていて、バイオマスの関係でいい循環ができていると思う。そういう動きを数値化したらどうか。
→個別的には、マイクログリッドの検討や産業政策ビジョンの中でやっていくものであり、今後検討していきたい。
- ・ 学校運営協議会にも関わることだが、中学校の休日の部活動をボランティア活動として地域との関わりの中でやっていくという点について、国の方針も出ているので文章を入れていただきたい。
→学校は地域の核になる施設なので、どのように地域と学校が関わって子育てをしていくのかというのは今後検討をしていかなければならない。
- ・ 新旧対照表の中で削除をした部分について、なぜ削除したのかがわかるようにしてほしい。
- ・ 農業振興地域整備計画書については、早い時期に見直しが必要であると思う。計画がないと乱開発を招くことになる。
- ・ 「循環連携・共生社会」という意味がわからない。
→相互支援は一方的なものではなく、善意の輪。善意の輪が回っていくというスパイラルのイメージをしている。福祉循環というか、一般的な言葉ではないので、きちんと整理したい。

(傍聴高校生からの意見)

- ・ 今までこのような会議には出たことがなかったので、社会人の方の会議を見学させていただいたのは初めてで今後の方針等の議論を聞く中で新しい発見もあり非常にいい経験ができた。
- ・ 川上小に話しに行った時に、転校生が県外から多くの学校の中でわざわざ川上小を調べて選んできてくれたという話を聞いた。県外の方が選んできてくれたというのは非常に嬉しいことだと思う。真庭の人は真庭のことを知らない。市と高校ももっと連携し、このような話しをしていただく機会が増えればいいと思う。
- ・ 同じ高校の中で、醍醐桜を知らない人、湯原温泉に入ったことがない人、蒜山に行ったことがない人もいる。この総合計画を含めて、真庭市の人々が真庭市のことをもっと知ってもらう機会をつくってほしいと思った。

6 その他

今回は10月12日の開催をすることとしている。その際は総合計画・総合戦略の案を提示し、その後パブリックコメントを実施するという考えで考えている。

7 閉会